

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・コロナ対策としての清掃も行い、整理整頓を心掛け、使いやすくなっている。
- ・人数配置やシフト、活動計画については概ね高い評価となっている。

B利用者への支援内容

- ・学習や余暇活動に関して一人ひとりのニーズに合った支援ができています。
- ・コロナによる制限はあるがカフェはリラックスして過ごせる場になっている。

C関係機関との連携

- ・必要な利用者には、学校や他機関との連携ができています。そのため、情報を保護者と十分に共有できていると感じています。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・学習・余暇活動の報告を必要に応じて行い、その際に要望や悩みなども聞くことで支援に活かしている。

E非常時対応

- ・個人情報の管理や虐待・アレルギーに関しては特に気を付けて支援している。
- ・避難方法の習得や避難場所の確認、必要な用具の準備など行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・教室は整理整頓され、気持ちのよい環境になっている。
- ・他の利用者との関係は配慮されていると感じている。

B利用者への支援内容

- ・学習・余暇ともに利用者や保護者のニーズに応える支援ができています。
- ・コロナの影響でカフェの利用をしない場合、良し悪しの評価ができない。

C関係機関との連携

- ・学校等との連携ができていますと感じている保護者は少ない。

D事業所からの情報発信

- ・高いとは言えないが、昨年度に比べて、ホームページなどの情報に対する利用度は高くなっている。
- ・面談や報告などの評価は高い。

E非常時対応

- ・昨年度と比べると、保険に入っていることを知っている保護者が増えた。
- ・その他、災害や虐待などに関する項目については、概ね高い評価となった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・清潔で整った環境の中、スタッフや利用者の配置についても配慮がされている。
- ・学習・余暇ともにニーズに応えている支援が保護者にも受け入れられている。
- ・利用者とスタッフ間の面談や学習報告など、直接関わる支援はよくできている。
- ・安全に関する項目については、概ね評価が高かった。

【相違点】

- ・コロナ禍でのカフェ利用制限に対し、スタッフはできる範囲での支援を行っているが、保護者からは利用ができない場合があるため、良し悪しの評価ができない。
- ・学校や関係機関との連携について、必要な利用者に対しては十分対応していると考えられるスタッフが多いが、利用者から見ると、コロナの影響もあるため、昨年度同様の会議が持てないことで評価が低くなっている。

分析・検証してみて

事業所の強み

- ・利用者のニーズに合わせ学習・余暇支援内容を考え1対1の個別学習を行う。
- ・各学年・教科に対応できるスタッフがいて、それぞれの力を発揮することができる。
- ・カフェコーナーがあること。
- ・レクタス相談支援室があること。
- ・習字・パソコン教室の充実
- ・自立通所ができる立地場所。

事業所の改善点

- ・コロナ禍で、学校や関係機関との連携はとても難しいが、できる方法を探し情報が交換できるようにしていきたい。
- ・待機者がとても多数いるため、少しでも早い利用に結びつくような方法を考える。
- ・カフェ利用については、飲食なしについてのご理解はいただきつつ、活動について少し考えていくようにする。

事業所の改善への取り組み

- ・学校や関係機関との連携の対応として、レクタス相談支援室の活用をはじめ、他の相談支援室の利用を勧めていくようにする。
- ・多数いる待機者へは、レクタス相談支援室や他事業所の紹介などを通して、本事業所以外でもニーズに合ったところが見つかるように支援する。
- ・カフェでの感染予防は利用者、保護者ともにご理解とご協力いただけるようお願いし、その上で充実した時間が持てるように活動していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年は、コロナ対応に追われた1年間であった。評価の内容を見ても、コロナの影響があったのではないかとと思われる項目もある。こちらから保護者へお願いすることもたくさんあり、その度に快くご協力いただいていたことには、感謝の気持ちでいっぱいである。今後もこのような、良好な関係を続けて行くことができるよう、スタッフ一人ひとりが常に利用者や保護者を思い、より良い支援ができる事業所であるように心掛けていきたい。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス都筑ふれあいの丘教室

担当者 松田 いづみ